強い公明、共産。新座市議選でも。

１４日投開票の新座市議選。トップは予想通り、市長選挙にも出馬経験のある平松氏、３８才。そして２位が公明、三位共産、四位公明、五位共産、六位公明、七位公明と、地方選挙に強い公明、共産の典型的な結果だった。昨年の川越市議選のトップも共産党だ。

また注目すべきは、四年前、二名の議員を送り出したみんなの党。
二名で２５００を超える票を集めた四年後は二人合算でも当選ラインにもならない８２５票だ。

本来、地方政治は政党色よりも、個人的な魅力も含めた「選ぶ基準」も加味されて、有権者は投票する。「あの人、公明党なんだけど、地域のために本当によくやってくれるから、応援してるの」という声（公明党を共産党に置き換えてもいい）をよくきく。

また、新座市議選、前回落選した二名が今回、返り咲き、初当選した。
一名は６００台からダブルスコアの１２００票突破。一名は四年前６５才初出馬９８９票から今回、６９才１４０７票を集めての初当選だ。

この四年間の努力の結果そのものだ。

国では、若い議員の失言、軽率な行動など眉をひそめる事象がある。
政治の世界、「若いから」という議員に対する期待も全否定はできないが
社会経験を積み、一種の専門的知識を兼ね備えた人がまちづくりに参画することは市民にとって有益と思う。新座でも３０代４０代の新人が落選。

そして、朝霞で当選した□NHKから国民を守る党」というNHK受信料不払い運動を軸とする奇妙な政党の候補者、新座では落選した。

四月には志木と坂戸の市議選。注視していきたい。
伊勢谷　珠子